













☆☆ご家族の方へ☆☆

- ・ 手術中はディルームか病室でお待ちください。席を外される時は看護師にお知らせください。
- ・ 貴重品はご家族で保管するか、お部屋のセーフティボックスをご利用下さい。
- ・ 手術後の病室は放射線管理区域となります。出入りの際はその都度日誌に記入をお願い致します。

手術日 月 日 時 分 麻酔…全身麻酔

※術後の経過により個人差があります。ご不明な点は医師・看護師におたずねください。

	入院日	手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目(退院)
			手術前	手術後		
活動と安静	制限はありません。	制限はありません。	身に付けているもの(眼鏡・コンタクト・入れ歯・アクセサリなど)をはずし、弾性ストッキングを履いて、待機して下さい。	麻酔の効果が残っているので、手術当日は安静を保つ必要があります。寝返りをうつことはできますが、ベッド上での安静になります。 	午前中、医師の許可が出たら看護師と一緒に歩行を開始します。夕方(5時頃)尿の管が抜け放射線管理区域が解除になるまで、検査時以外、病室の外には出られません。 	制限はありません。
食事	低残渣食になります。補食時はパンフレットを参考にして下さい。	夜9時以降食事を摂らないで下さい。	( )時以降水分を取らないで下さい。	医師の許可がでたら飲水を開始します。食事はできません。 	吐き気がなければ朝から食事(常食)を開始します。 	
検査	麻酔科受診があります。				採血・胸部のレントゲン・腹部のCTがあります。	
清潔		入浴していただきます。 	歯磨き・洗面を行って下さい。	看護師が洗面介助を行います。 	看護師が体拭きのお手伝いをします。 	熱がなければシャワー浴ができます。退院後入浴できます。 
排泄			午前7時頃に浣腸をします。お部屋でお待ちください。	尿:尿道に管が入っています。便:ベッド上で便器を使用します。	夕方のCT検査後(午後3時以降)尿の管を抜きます。その後はトイレの蓄尿瓶に尿をためて下さい。(退院まで)	
処置その他	弾性ストッキングのサイズを確認します。(病棟で準備します)普段内服されているお薬を確認します。 	夜9時頃下剤を飲んでいただきます。(看護師がお渡しします) 	朝7時に( )を少量の水で内服して下さい。絶飲食のため点滴をします。(朝9時頃) 		午前中に点滴を抜きます。歩行が出来たら、弾性ストッキングを脱ぎます。内服薬の再開について確認します。脱落線源に気付いたら、看護師にお知らせ下さい。	
看護計画と説明	#1. 疾患や治療に対する不安 主治医から治療についての説明があります。麻酔医より麻酔の説明があります。わからないことや不安なことがあればいつでもお尋ね下さい。 			#2. 術後合併症(穿刺部痛・尿意痛・出血) 異常の早期発見に努めます。尿管の違和感や痛みがある場合は痛み止めを使用します。我慢せずにお知らせ下さい。血尿が出ることがあります。	#3. 放射線に伴う合併症 尿の管を抜いた後、排尿状況を確認します。尿が出にくくなったり、近くなったりすることがあります。	#4. 退院後の生活への不安 診察時、退院後の日常生活についての説明があります。パンフレットをお渡しします。  次回受診日( )